

題字／原田 美哉



特集

行ってみよう みつどんのお家

〔子育て世代支援施設〕

主な掲載記事

公民館報100号を語る	2～3
行ってみよう みつどんのお家	4～5
元編集委員からの寄稿	6～7
おじゃまします・あっちこっちこの町	8
本の魅力・ど〜こだ!?	9
公民館ダイアリー・掲示板など	10～11
はぐくむ(3保育園)	12～13
スポーツ協会	14
頑張る!!イクメン・俳句・短歌	15
アルバムからこんにちば・いいづな時空散歩・ねがい	16

100号を語る

歴代正副編集長記念座談会



初代編集長
小林 雅彦さん

西村 『館報いいづな』がめでたく100号を迎えたというところで、本日は先輩方にお集まりいただいて、楽しかった思い出、苦労した思い出、そして先輩として、館報をどうご覧になっていられるのかといったお話を伺いたいと思います。

小林 本日はお招きいただきありがとうございます。昔話を楽しみにやって来ました。だいぶ時間が経ってしまっただけで、記憶が定かでない部分もあるので、今日は当時の『月刊公民館』を持ってきました。

大塚 まあ、懐かしい。

小林 2005年10月に当時

9人の館報編集委員が、ここ、飯綱町民会館1階の和室に集まったわけです。その様子が『月刊公民館』に寄稿（後に全国館報コンクールで最優秀賞を受賞した時のもの）した記事によると『事務局の進行により、いろいろなことが段取りよく決められていく。段取りが良すぎるのである。大抵なことが語られていない。（公民館報の）目的が無い：町には広報（いいづな通信）や議会報、JA（Vivid）など情報があふれていると思います。そういった中で館報の目的は何なのか、ひいては公民館とは何なのか、公民館報はどうあるべきなのか、みんな考えているべきだと考え、公民館という組織を学習する必要があります。とありました。

大塚 それで創刊号の特集になるんですね。

小林 そうですね。創刊号の特集は討論会、いろんな人に

集まっていたら『公民館』について語ろう』って感じ。座談会をやりました。それがスタートだったんです。

西村 私もこちらに移住して20年ですけど、「公民館」ってこちらに来てから知りましたよ。長野県って、各地区に公民館があって、「何なんだろう」って思いましたよ。

「公民館報」って何だろう

みんなで語り合いながら作りました

小林 最初は建物の名前と

ついていた。でも、いろいろ調べてみると面白くて、一言で言うところ、

「自由の砦」ってことかな、誰にも邪魔されずに自由に学習できる。公民館ってそういう場所だ

って知っていなけりゃいけないと思ったし、ただ読者に迎合して、楽しければいいみたいなもの

だったら、別に館報じゃなくてもいいんだよね。そういうことを真剣に考えていたと思う。

大塚 牟礼村の館報の時は特集って年に1回か2回だったのに、館報いいづなで3回ぐ

らい連続で特集をやったら、

小林 最初は建物の名前と

ついていた。でも、いろいろ調べてみると面白くて、一言で言うところ、

「自由の砦」ってことかな、誰にも邪魔されずに自由に学習できる。公民館ってそういう場所だ

って知っていなけりゃいけないと思ったし、ただ読者に迎合して、楽しければいいみたいなもの

だったら、別に館報じゃなくてもいいんだよね。そういうことを真剣に考えていたと思う。

大塚 牟礼村の館報の時は特集って年に1回か2回だったのに、館報いいづなで3回ぐ

ら連続で特集をやったら、小林 特集のテーマを決めるのがホントに大変だったよね。集まって、自分が生活している中で疑問に思ったこととか、感動したこととか、ひとりひとりと話してもらって、雑談が



第2代編集長
高橋 弘之さん

ずっと続いて、それでも全然決まらなくて…。

近藤 創刊の頃のお話を聞いて、一つのテーマをみんなで話し合

っていいなって思いましたね。みんなで徹底的に話し合

っていくことによって、自信を持って書けたり、広がりを持

てるように思います。

小林 雑談で盛り上がった話は、特集にしてもうまくいく

んだよ。

西村 創刊の頃はもうやって作り上げたんですか。

大塚 一番最初に集まって特集のテーマを決め、分担を決

めて終わりで、取材して記事を書いたのを持ち寄って、み

んなで記事を読み合

って意見を出し合

って組むみたいな…。

大塚 その次は組んだのを見て、写真とか、レイアウトと

公民館報



第2代副編集長
平井 久子さん



高橋（弘） 小林編集長はなかなかOK出さないんですよ。『もっとうしろした方がいい』って深く追求していくから…。だから良いものが出来る。

小林 いやでもね、引っ張って何も考えていないわけじゃない、いつも考えてるんだよ（笑い）。引っ張って、引っ張って、何かの拍子に（アイディアが）浮かぶことあるんだよ。

高橋（弘） 浮かばないんだよね。そんな簡単に。

小林 そう、追いつめられないとね。本当のタイムリミットの日の朝5時だもん。浮かぶのって。でも始めるのって（午前）1時ぐらいなんだよね。だから若くないと出来ない。

高橋（弘） 深夜って誰にも邪魔されないからいいよね。

「みんながやがややっていく」のが

館報の原点かな

高橋（瑞） 私一つお伺いたいんですけど、小林編集長がお辞めになって、高橋編集長になって、平井さんや西村さんや私が入って、半分が新人になった時がありましたよね。

大変だったでしょ？って、お聞きしたい。

高橋（弘） 大変ってこともなかったですよ。大事なのは館報編集委員としての経験値よりも、人生の経験値なんですよね。

小林 まあ『めんどな人』はいない方がやりやすいな…。

高橋（弘） だけど、『めんどな人』もそれはそれで大事なんで「かんまして」くれれば、そこから新しいアイディアが出てくるんで。まあ、いろんな人がいた方がいいと思いますよ。

高橋（瑞） 私はそれこそ何も知らずに入ったので、その大変さも知らなかった。

小林 なんか新人ばかりで



第3代副編集長
高橋 瑞穂さん

楽しそうだね（笑い）。

平井 私も右も左も分からなかったけど、皆さん新人で分からないから、恥ずかしくなかった。

高橋（弘） 長くいると、今までの形にこたわっちゃうんで、新しい発想がなかなか出てこないですよ。だから新人が多いのはメリットもあるんですよ。

平井 これって珍しいよねとか、知らないよねって言われて、逆に私の方がビックリしてた。だから面白かったのかな。良い方に恵まれたのかな。

高橋（瑞） 私もそう思いますよ。

西村 さて、そろそろまとめましょうか。100号ってことでお集まりいただいたわけですが。

平井 最初の頃のご苦労が分かかって良かったです。

西村 この町は四季折々、い

い所があるんで。紹介していきたいですね。100号が出れば101号って続いていくわけで、私たちも今日いただいた話から、みんなでもんでみんながやがややって、やっていくのが、館報の原点かなって思います。

近藤 「館報って何」「公民館って何」って、私たちそんなこと全然考えないで、目先の記事を追っている。そこをもうちよつと振り返りたいですね。

小林 公民館のルーツをひもといてみると、今のような時代に公民館的考え方が必要なんだと思う。

西村 じゃあ、時々「小林元編集長に聞く」ってやりませんか（笑い）。

そうやってご協力いただきます。今日はおありがとうございました。



第3代編集長
西村 啓大さん

か、さらに修正する…。

小林 でも、特集のところだけですけどね。あとは事務局の方にやってもらっていました。多分、事務局は大変だっただろうと思う。だって締め切り絶対守らないんだもん。

西村 昔からそうなんです（笑い）。

小林 締め切りの最終リミット聞いておいて、それに間に合わない（笑い）。それで事務局に職場まで取りに来てもらったりして…。悪い事したなと思うよ。



第4代副編集長
近藤 りえ子さん

行ってみよう みつどんのお家

みなさん「みつどんのお家」へ行ったことはありますか？

乳児健診では行くけど、普段は行かないという人が多いのではないのでしょうか？

編集委員もそうでした。今回は1人でも足を運ぶキッカケになるようにとの想いで取材に行ってみました。

編集委員 飯田 安彦、天野 奈津美、正村 明菜

遊具の対象年齢は
3歳～12歳。
小さなお友達が安心
して遊べる遊具だよ！



支援センターに
遊びに来たお子さん用の
砂場もあります



水道は7月頃から使えるよ！
暑い夏は水遊びができて楽しそうだね。

「みつどんのお家」は、
子育て支援センター（1F）と
ワークセンター（2F）の愛称です。





室内のおもちゃや絵本は基本的に対象が保育園児程度までです。特に未満児さんが遊べるおもちゃが多いようです。



広いプレイルームが
フロア続きで3か所あるよ！
託児室もあるから、
お昼寝もできるんだ



施設には保健師さんが常勤しています。
子育て中の方のご相談に応じています。
ご相談希望の方は253-8853へお電話
ください。



こんな素敵な場所で
仕事をしたらはかどりそうだね。
(2Fワークセンター：写真右)



現在のところ、基本的には平日のみの利用ですが、月に一度土曜日に利用できるようにするなど町民が利用しやすい工夫を積極的に検討されているとのこと。また、夏休みなどの長期休暇には、小学生、中学生、高校生などが小さなお子さんと触れ合えるように学生ボランティアの募集も検討中とのこと。ファミリーサポートセンター事業なども、条件が合った場合に限り、サポーターさんのご自宅ではなく、みつどんのお家での利用も可能とのこと。お子さんを預ける保護者、サポーターの方両方の立場から安心かもしれません。「みつどんのお家」が、いろいろなサービスの拠点になることでますます施設の有効活用になるのではないかと思います。わざわざ近隣市町村の公園まで行かなくても、飯綱町にも遊べる場所はあるようですね。

特に小さい子どもがいる場合、お子様が楽しめる充実した施設になっています。一度行ってみてはいかがでしょうか？

元編集委員からの寄稿

編集委員に携わった思い出



土屋 静江
H23.4.1～
H26.3.31

もう何年前のことでしょうか。某スーパーで知人に声をかけられたのが始まりでした。

公民館報は以前から欠かさず読み続けていたので、少し興味を持ちましたが、いざ、委員としての活動が始まると大変でした。

毎号、巻頭の特集テーマを決めるのに編集会議会場の閉館時間が過ぎてしまふことが何回もありました。何年も前の資料にさかのぼり、同じ特集テーマにならないようにするのです。そしてテーマが決まってからは、取材・校正と回を重ねていき、仕上がったときの感慨は格別なものでした。任期の3年が過ぎてしまえば、とても短かったように感じたのも充実していたからでしょう。「あっちこちこの町」の挿絵が、自分の任期中そのままののもうれしい限りです。「公民館報いづな」が創刊100号を迎えられますことに御祝いを申し上げますとともに委員の皆様にさらに期待します。

今後の公民館報について



土屋 辰也
H23.4.1～
H26.3.31

本原稿の執筆にあたり、主に同世代の飯綱町関係者を対象に、公民館報についてどのような認識を持っているかを知るための意識調査を実施しました。（※飯綱町関係者とは、「ずっと飯綱町に住んでいる人、Uターンした人、飯綱町に移住した人、飯綱町出身で町外に住んでいる人」です。）

調査の結果、町外在住者は公民館報を読んでいる人が多く、町内在住者は読んでいても特に関心（感想）がない人が多く、中にはいろいろな通信と区別がついていない人もいました。また、これは最近Uターンした人ですが、そもそも公民館報を知らないという人もいました。

私は現在、町外在住ですが毎号ホームページにアップされたその日に読ませていただいています。特集のテーマが1つの分野に偏ることなく多岐にわたっていて飽きがないですし、興味深いものが多いです。関係者への取材や調査も丁寧な深いところまでされていることが伝わってきて、とても読み応えがあります。（私が編集委員だった時はここまでできていなかったです。）

編集委員になった当時（20代前半）のことを思い返してみると、お世話になった人に頼まれたから編集委員を引き受けたのであって、最初から関心があったわけではありません。公民館報に携わるようになって徐々に関心を持つようになり、そのことから、若年層への広報活動やより関心を持つような対策が必要だと感じます。例えば、広報・PR活動にSNSを活用したり、中高生を編集会議に呼んで意見を聞いたり、特集のテーマを公募してもいいかもしれません。（既に実施済みのことでしたら申し訳ありません。）

今回の調査はかなり偏った調査であり、勝手に若年層の関心がないと仮定して考えを述べたものでありますので、正式な調査等で最新の情報（町内外問わず特に若年層の声）を取り入れ、今後の公民館報作成に反映させてはいいかがでしょうか。苦勞して作り上げた公民館報が少しでも多くの方の目に届くよう、微力ながら私もできることをやっていきたいと思います。

100号おめでとう



平井 久子
H26.4.1～
R2.3.31

毎号楽しみにしています。数年間お世話になりました。編集会議のときは新しい情報、発見があり、また自分の人生の振り返りの機会もあり充実していました。

現在、コロナ禍でのイベントの中止等で、情報の収集にはご苦勞されていると思います。いろんな方にじっくり話を聞くという基本の取材が大切なのに。

その中で「男の育休」はなるほど、このような取材方法もありだね！と、現在の生活で注目されていることに目を向けている特集が印象に残りました。私的に、一緒にやらせていただいた木賀田さんのその後という感じで、写真を見て、読んで「オー！！やってるね」とニンマリ。TV等での情報と違い、身近で協力しあう姿にこれからの若者を見た気がしました。

4月からは、町は過疎地域に指定されたとか。ですが、私の周りでは一家5人で戻ってきている人もいます。若い人たちには住みやすい町だと私は感じています。

皆さまの努力が実を結びますように。

多くの人に登場を！



中島 和子
H17.4.1～
H23.3.31

公民館報「いいづな」100号発行おめでとうございます。原稿依頼を機に、書棚に積まれたままの2005年12月の創刊号から現在の99号を手に、館報の軌跡を紐解いてみました。飯綱町誕生と同時に「いいづな」の発行も始まり、創刊号から33号までの6年間編集委員として関わったことで多くの皆様と出逢い、合併後の新しい飯綱町を発見出来たように思います。

編集委員として最後に担当したのは、あの3・11と同時発生の栄村地震の記事です。ボランティアに参加した時の現場状況をお伝え出来ました。

75号からは表・裏表紙がカラーで見やすくなり、タイムリーなトップ記事には住民が知りたいた町の情報もあり、編集委員さんの意気込みが感じられます。時には『町人紹介』として、多くの人が登場する企画も館報らしくて良いですね。

公民館報は町の歴史を記録・保存する大切な役割だと思っています。今後も益々のご活躍を期待します。

皆様のご健康を願って



高橋 瑞穂
H26.4.1～
R4.3.31

編集委員になって良かったことは何かを考えた時、すぐに出てきたのは「良い先輩と仲間に恵まれた」ということでした。

考えて行動を起こして文章にまとめることは難しいのですが、先輩や仲間と共に町民の皆さんの話を聞き、一緒に記事を作っていく工程はとても有意義でした。また、取材を通して飯綱町の人や歴史、場所に興味を持てるようになり、「次はどんな記事を書こうか、誰の話を聞こうか」と相談をする時間も楽しく感じていました。

「公民館報は編集委員のためにあるのではない」のです。編集委員が心身ともに健康でいきいきと暮らしていると、健全で前向きな記事が書けるだろうと思っています。

編集委員皆さんの人生が豊かになり、その発想力と行動力を活かして、町民目線の気付きを問いかける公民館報が末永く発行されることを願っています。

「特集記事」が楽しみです！



大塚 幸枝
H17.4.1～
H30.3.31

公民館報100号発行、おめでとうございます。以前20年間位、特集に携わらせていただきました。「館報むれ」のころは、特集記事は年に数回でしたが、合併後「館報いいづな」になってからは毎回掲載されるようになりました。

この遠足に同行したり、学校給食の内側を見たり、戦争体験談をお聞きしたり、普通では体験できないことをさせていただきました。

「ごみ減量化」の特集で、生ごみは堆肥化すること、新聞や雑誌だけでなくカレーやアイスの空箱、レシート1枚でも封筒にまとめておいて資源回収に出すことを提案しました。この「分ければ資源」を今も実践しています。

特集記事を作っている時は大変でしたが、読者になった今は一番楽しみにしています。これからも地域のおもしろいことや、実際に役立つ記事をよろしく願います。

また、いいづな時空散歩、おじやまします、あっちこっちこの町、どうこだ!?、も大好きなコーナーなので続けてほしいと思っています。

変わりゆく時代と 変わらないもの



遠藤 美代子
H29.4.1～
R2.3.31

この度は創刊100号おめでとうございます。

公民館報編集委員に関わらせていただいたことで出会えた町民の方々と、取材等の経験は大変ありがたく貴重な時間でした。

個性豊かな編集委員の方々の、地域に対する細やかな目線と温かな寄り添う気持ちには、編集会議を進める上で一致していたように思い起こされます。会議といても、何だかところがほっとする、柔らかな時間の流れでした。

変化の激しい時代の中で、共に変わりゆく地域や人々の暮らしがある一方、いつの時代も変わらない人のぬくもり。

公民館報を手にとると、地域とつながり、人と人につながり、人と共に生きる喜びが湧き上がる、そんな永久不変の役割を、今後担っていただければと祈念しております。

郷土の魅力を伝える 公民館報



瀧野 良枝
H29.4.1～
H29.10.31

私が編集委員として携わらせて頂いたのは短い期間でしたが、「葉師寺東塔 縁の瓦」という特集記事の取材に立ち会わせて頂き、担当の方の穏やかな中でも熱意のあるお話ぶりに、歴史的な発見を疑似体験させて頂いたかのような感動をしたことを、今でも覚えております。

退任してからも公民館報は興味深く拝見しており、時には担当の委員さんの顔や思い浮かべながら楽しませて頂いております。とりわけ特集記事のテーマが秀逸で、町の中の新しい風を感じ取るもの、大切にしたい郷土への誇りを呼びおこすものなど、公民館報を通じて住民の中で共有できますことが有難いです。

編集委員の皆様には、テーマの選定、取材、原稿の作成など、ご苦労も多いかと思いますが、これからも町の魅力を十分に伝えてくださる公民館報に期待しております。

飯綱町の暮らしの安全を守る仕事!!

服部 貴宏さん（飯綱町交番勤務）

今回の「おじゃまします」は、飯綱町交番勤務5年目の服部巡査に話を伺いました。警察官になろうと思ったのは、子供の頃、須坂市の実家の工場でパトカーが来るのがあり（悪いことをしていた訳ではありません）格好良い、と思ったのがきっかけだったそうです。交番の勤務は24時間体制です。朝8時に主管轄の長野中央警察署に出勤し、そ



困ったことがあって、家族や友人に相談することができない時は、なんでも相談してください。

の後飯綱交番に来ます。パトロールや巡回連絡（家庭を回る）、観光地にも足を運びます。その間に事故や事件があれば無線で知らせが入り、対応をします。飯綱町はありがたいことに、事件の件数は少ないです。その一方で事故の件数は多くあります。特に冬場の雪や凍結による自動車事故です。そして、全国で今なお多くあるのが、電話でお金

服部さんのスケジュール帳

8時	車で長野中央警察署へ出社
9時	飯綱町交番へ（引き継ぎ）
10時	パトロール
11時	巡回連絡
12時	昼食
14時	パトロール
16時	巡回連絡
19時	夕食
20時	パトロール（信濃町交番職員と一緒に）
2時	飯綱町交番（仮眠）
7時	書類作成等
9時	飯綱町交番（引き継ぎ後退社）

詐欺です。何千万円もの金額をだまし取られるケースもあります。飯綱町の住民の方へのメッセージは、相手が誰でも、何を言っても、お金の話があったら、まず家族や友人に必ず相談してください。家族や友人に相談することができない時は、警察に相談してください。

県警では警察官募集中です。若い皆さん、私と一緒に仕事をしませんか。

今回、取材に応じてくださった服部さんは、小諸市、千曲市、佐久市などの勤務を経て飯綱町に赴任されたそうです。とても丁寧で、優しい方でした。

（速水）



三水地区にあるお墓のような慰霊碑



タイトル／近藤 理香

No.63 これは、何の碑？

三水地区は、三水小学校グラウンド付近にある、この碑。歩いてみると、一体なんだろう？と思うばかりです。慰霊碑という文字、お墓のような佇まい。気にはなるのですが、よじ登ってみても、石の裏を

みても、手がかりはつかめません。

「三水村の歩み」に、写真がありました。1964年建立とあり、再建とのこと。戦争で亡くなった216人の村人のための、平和を願う寄付による碑でした。

西南戦争（1877年2人）、日清戦争（1894・1895年3人）、日露戦争（1904・1905年10人）、満州事変（1931・1937年5人）、日中戦争（1937・1945年19人）、太平洋戦争（1941・1945年177人）合計216人。1984年には20周年法要でした。2024年、60周年を迎える慰霊碑。

1938年の村葬では巨大な忠魂碑があり、その写真から人心を狂わせる戦争は、二度とあってはならないなあと感じます。1969年には、碑の一部が校歌碑になりました。小学校の中庭にあります。探してみてください。

（AT）

本の魅力

心を豊かにしてくれる場所

公民館図書室

公民館図書室司書 杉山 豊子さん



本の貸し出しに対応する杉山さん

町民会館の図書室を利用したことのある人なら知らない人はいないであろう杉山 豊子さん。それもそのはず町民会館の前身、村民会館開設から窓口に座って30数年が経つそうです。その間、日々の図書業務はもろろのこと、おはなしの会の設立、小中学校の朝読、ブックスタートなど、飯綱町の読書推進への貢献は計り知れません。そんな杉山さんですが、子どもの頃は本とは無縁の毎日、野山を駆け回り、スポーツに明け暮れていたとのこと。本に親しむよう

を増やしていくことで、利用者も増えてきました。特に新着本は大変人気があり、あつという間に借りられて、順番待ちになることも多いです。貸出制限や規則はあまり好きではありません。皆さんの思いやりと気づきで気持ちよく利用していただいています。

「最初は、児童書は全くなく、古い本が1000冊程だったでしょう。台帳作りからのスタートでした。スペースも今よりずっと小さかったです。借りる人も殆どありませんでしたが、子どもの本の充実を心掛け、また利用が多い読み物の本を増やしていくことになったのは大人になってから。今では寝る前の読書が習慣で、傍らに本がないと落ち着かないそうです。今回は公民館報100号記念として、公民館図書室の生き字引き杉山さんにその歴史を伺いました。」

この仕事をしていて嬉しいのは、求められた本を『あります!!はい、どうぞ』と手渡しできた時です。それと、親子で利用されている姿を見ると嬉しくなります。子ども達も、沢山の本の中から自分で選んで手に取ること、より興味関心を持ってもらえると思います。メディアに溢れかえり、コミュニケーションや実験が少なくなってきた今、読み聞かせをいっぱいしてあげてほしいです。本からいろいろな追体験をし、心豊かに成長してくれることを願っています。

公民館図書室も充実を図ってきましたが、求める本が見つからなくて近隣の公立図書館に行かれる方も少なくありません。飯綱町にも本の充実はもちろん、閲覧もゆとりで使える使いやすい図書館ができたらいいなあと思っています。

長年町民の読書を支えてきてくださった杉山さんならではのお話でした。今の図書室に感謝しつつ、充実した公民館図書室が飯綱町にもできたらいいなあと思いました。(近藤)

これは、どこから撮った写真でしょう。

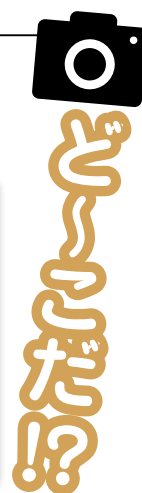
ヒント とある花の名所の反対側に広がるリンゴ畑です。



答えは
募集します!

99号「ど〜こだ!」答え

鳥居新橋の上から、鳥居川上流に向かっての撮影。



正解した方の中から抽選で5名様にみつどんグッズをプレゼントします。皆様のご応募お待ちしております。

応募様式：好きな様式に、お名前・ご住所・電話番号・答え・公民館への感想をご記入ください。

応募先：〒389-1211 飯綱町大字牟礼1989 飯綱町民会館内館報編集室
TEL:253-6560 FAX:253-6670
E-mail:gakushu@town.iizuna.nagano.jp

応募締切：8月31日(水) **抽選結果**：プレゼント発送をもって当選とします。
※なお、お電話での受付は行っておりません。

市町村と県による協働電子図書館がスタートします

8月5日よりパソコン・スマホ・タブレットで読める電子書籍の利用ができるようになります。

ご利用にあたっては、7月1日(金)より飯綱町公民館図書室(飯綱町民館内)にて申込受付をいたしますのでどうぞご利用ください。

ただし、申し込みできるのは、

- ① 飯綱町に住所がある人
- ② 飯綱町公民館図書室の利用登録をしている人
- ③ 飯綱町に居住実態(別荘利用者など)のある人

となります。

これを機に公民館図書室の利用申し込みも合わせてお待ちしております。

Q 電子図書館って、どんな図書館？

A ご自宅のパソコンや、スマホ・タブレットを使って、様々な本を読めるインターネット上の図書館です。

Q 「協働」電子図書館って、なあに？

A すべての長野県民が、いつでも、どこからでも、無料で、電子書籍(コンテンツ)が借りられるよう、長野県内の公共図書館と公民館図書室が協力して運用する図書館です。

Q どんな本(コンテンツ)があるの？

A 小説やライトノベルなどの読み物だけでなく、レシピ本、ビジネス書などのさまざまな実用書や、子どもの本、英語

の本などがあります。

Q 電子図書館の特徴は？

A 長野県民は、だれでも、いつでも、どこからでも、簡単に本の貸出と返却ができます。文字を、読みやすい大きさに変えることができます。ページも、タップ(クリック)一つで簡単にめくれます。どうやって借りるの？

● 電子図書館を利用するには登録が必要です。飯綱町民の方は、飯綱町公民館図書室で「電子図書館利用申込書」に入して、IDとパスワードを発行してもらいましょう。

● 登録は、7月1日(金)から受け付けます。

● 貸出は、令和4年8月5日(金)からです。

Q 協働電子図書館の開館時間は？

A 365日、24時間、お休みはありません。仕事や子育て、介護などで、開館時間中に来館できない方、からだの不自由な方、図書館が遠い方も、いつでも好きな時に、読書が楽しめます。

Q ひとり何冊借りられるの？

A 貸出冊数は2点、貸出期間は1週間。貸出期間が過ぎると、自動的に返却されます。

● 一度だけ、1週間、延長できます。

● 借りたい本が貸出中のときは、一度に2点まで、予約することができます。

公民館報『いいづな』・『あっちこっちこの町』タイトルが決定しました



公民館報『いいづな』創刊100号を記念して公募いたしました公民館報の題字『いいづな』とひとつのコーナーである『あっちこっちこの町』のタイトルが決定しました。

両タイトル共に中学生・高校生・一般の方

から『いいづな』は17件、『あっちこっちこの町』は12件の応募がありました。応募いただいた方々、ありがとうございました。

公民館関係者と館報編集委員の投票および協議により、次のお二人の作品に決定いたしました。

今回の100号からそれぞれのタイトルとして紙面を飾ります。

公民館報『いいづな』 原田 美哉さん(中学3年生)

○いいづなの一文字ずつに米・天狗・桜・りんごを取り入れ色彩も良く、文字もほのぼのとした手書き感が好評価に繋がりました。

『あっちこっちこの町』 近藤 理香さん(一般)

○蝶の羽が飯綱町の形であり、また、羽に花が描かれており、心が和み親しみを感じる点が好評価に繋がりました。

三水B&G海洋センターよりお知らせ

■海の日記念プール無料開放

海の日を記念して、プールを無料開放します。大勢の皆さんのご利用をお待ちしています。

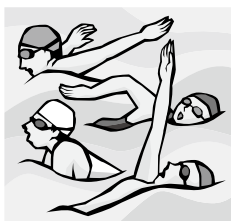
期 間 7月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝)
営業時間 午前9時～午後8時まで

■夏休み中 特別開館

普段月曜日は休館ですが、夏休み中は月曜日も休まず営業します。

特別開館期間 7月25日～8月15日までの月の曜日

特別開館時の営業時間 午前9時～午後5時まで



令和3年度成人式 及び 令和4年度20歳を祝う会 開催予定

昨年度延期となりました令和3年度成人式及び令和4年度20歳を祝う会を次のとおり開催いたします（令和4年度より民法の一部改正により、名称を「成人式」から「20歳を祝う会」に変更いたしました）。

対象者の方には、お手紙等でご案内を送付いたします。懐かしい仲間と一緒に人生の節目をお祝いしましょう。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、開催の変更又は中止になる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

日時 8月15日（月）午前10時～と午後2時
場所 飯綱中学校講堂

対象者 平成13年4月2日～平成15年4月1日までに生まれた方
問合せ 飯綱町民会館 TEL25316560

中国語講座のお知らせ

飯綱町日中友好協会では、住民の皆様を対象とした中国語講座を、下記のとおり開催いたします。参加費は無料です。お気軽にお越しください。

日時及び場所

令和4年7月25日、8月29日、9月26日、10月31日、11月28日、12月12日、令和5年1月30日、2月27日、3月27日	牟礼コミュニティ消防センター 1階 会議室
--	--------------------------

開催時間は、いずれも19:00～20:00

参加費 無料 ただし、受講テキスト代は別途必要です。

講師 大澤寛氏（飯綱町日中友好協会理事）ほか、飯綱町在住の中国出身者の皆様

問合せ 飯綱町日中友好協会事務局（役場企画課人口増推進室） TEL25312512



中学校図書館新着本

○高瀬庄左衛門御留書

砂原浩太郎

○黛家の兄弟 砂原浩太郎

○三十の反撃 ソンウォンピョン

○ひまわりは恋の形 宇山佳佑

○脱北航路 月村了衛

○機龍警察白骨街道 月村了衛

○心心東京の星、上海の月 石田衣良

○マイクロスパイ・アンサンブル 伊坂幸太郎

○くるまの娘 宇佐見りん

○チグリジアの雨 小林由香

○翼の翼 朝比奈あすか

○剣持麗子のワンナイト推理 新川帆立

○花散る里の病棟 帚木蓬生

○最後の大王 スコット・フィッツジェラルド

○恋せぬふたり 吉田恵里香

○ヴァイタル・サイン 南 京子

○草間彌生 草間彌生

○シャーロック・ホームズの建築 北原尚彦

○無駄なマシーンを発明しよう 藤原麻里菜

○無駄なマシーンを発明しよう 藤原麻里菜

○無駄なマシーンを発明しよう 藤原麻里菜

○無駄なマシーンを発明しよう 藤原麻里菜

○無駄なマシーンを発明しよう 藤原麻里菜

公民館図書新着本

★一般図書

★マイホーム山谷 末並俊司

○社会を変えた50人の女性アーティストたち
レイチェルイグノトフスキー

○代理母はじめました 垣谷美雨

○もう別れてもいいですか 垣谷美雨

○ついでにジェントルメン 柚木麻子

○名もなき子 水野 梓

○アルツ村 南 杏子

○彼女が知らない隣人たち あさのあつこ

○幸村を討て 今村翔吾

○恋する検事はわきまえない 直島 翔

○博士の長靴 瀧羽麻子

○救いの森 小林由香

○孤独を抱きしめて 下重暁子

○超早わかり18歳成人と法律 南部義典

○子育ての不安がなくなる お金の超基本 岡 ゆみ

○児童図書・絵本

○青い花のえかきさん

○あなたがうまれたとき

○かたつむり

○おばあさんとトラ

○ナイチンゲールのうた

○ベサニーと屋根裏の秘密

○ジャック・メニット・フィリップス

○ロミオ青い空 吉田 順

○シオンの花言葉 濱野京子

○まよなかのサイフリング たるいしまこ

○思いちがいの言葉 山口 理

○小学館ノンフィクション大賞

○小学館ノンフィクション大賞

○小学館ノンフィクション大賞

○小学館ノンフィクション大賞





「うさぎ組(3歳児)」
クレヨンで描いたところを触ってみたら手が黒くなっちゃった! お友達もやってみると「まっくろ!」「みてみて!」びっくりでした!



「ぱんだ組(4歳児)」
「大きいの作るよ!」「赤ちゃんシャボン玉がいっぱい!」とシャボン玉に夢中。「キラキラしている。」「かわいいね」と喜び合って遊んでいます。



「きりん組(5歳児)」
気持ちの良い風が吹くテラスで、おしゃべりしながらのびのびとお絵かき!



「地域の方とのふれあい」
地域の皆さんに教えていただきながら、ひまわりの植え付けをしました



「きりん組(5歳児)」
きりん組は最近ドッジボールがブームです。当てられてもすぐに気持ちを切り替えて、外野から当てようと一生懸命です。「今日は勝った」「負けた」と毎日の空き時間で楽しんでいます。



「ぱんだ組(4歳児)」
パンジーやツツジ、よもぎなどを使って色水遊び! カップを使って自分で調節しながら水を入れて、たくさんモミモミ…紫やピンク、緑など、美味しそうなジュースができたよ!



「あひる組(2歳児)」
散歩が好きなあひる組。この頃は田んぼがお気に入り。「カエルさんいるかな〜」「あついた!泳いでる〜」と大喜び。タニシはツンツンしたり、つかまえて手にのせたりしています。お家の方に「カエルさん泳いでたー」と上手に話す姿もありました。



「ひよこ組(0・1歳児)」
ブロックを囲いにして、真ん中にどんと大きなボールを置いて、クッキングスタート!!「さて、何を入れようか」…3人で相談中(!?)



「たんぽぽ2組(年少)」
ピョンピョンすばしっこいカエル。3人がかりで捕まえ、じーっと観察。「カエルさん元気だね!」と嬉しそうにしていました。



「すみれ組(2歳児)」
雨上がりの園庭。受け皿に溜まった水を発見!しゃべるですくったり指で触ったりしながら水を観察していました。



「れんげ組(1歳児)」
お散歩で広い野原に行きました!みんなで「ねんね〜」と寝っ転がってみたり、「まてまて〜!」と蝶々やカエルを追いかけてたりして楽しんでいました。



「つくし組(0歳児)」
お散歩で見つけたピンクの花。ぼく達触ってみるのははじめてなんだ!



はぐくむ

南部保育園



「あひる1組(1歳児)」
「おーい!!」窓越しに毎日
会いに来てくれるお兄さ
ん、お姉さんたちが大好
き♡



「ひよこ組(0歳児)」
なにやら真剣に見ていま
す。これなんだろうねー?



「あひる2組
(1・2歳児)」
みんなで一緒に!「たかく
たかくなあーれ!」

りんごっ子保育園



「さつまいもの苗植え
(3・4・5歳児)」
「これは、さつまいものあ
かちゃんだよ」と年長組
さんが教えてくれ、一緒
に苗植えを楽しみました。
「やきいもがたべたい」と
収穫を楽しみにしていま
す。



「うさぎ組(3歳児)」
よもぎは食べられるとい
うことを知った子どもた
ち。探してみると、保育園
にもたくさん生えていま
した。「ここにもあった」「にお
いがする」と喜んで採ったよ
もぎ。後日、おやつで「よもぎ
蒸しパン」をいただきました。



「遠足(3・4・5歳児)」
霊仙寺湖へバス遠足に
行ってきました。湖畔を
散歩したり、広い芝広場
で思い切り体を動かして
遊んだり、園では味わ
えない開放感や自然を楽
しました。

さみずっ子保育園



「こすもす組(年中)」
鬼ごっこの休憩中に草む
らに大の字に寝転んでい
た子どもたち。その後コ
ロコロ転がる遊びに発展
し、みんなで大盛り上
がりで楽しんでいました。



「ひまわり組(年長)」
園庭で遊んでいたら「外
でお絵かきたい!」と子
ども達。自分達で必要な
物を持ってきて、写生大
会が始まりました。カラ
フルで素敵な絵が描け
ました!



「たんぼぼ1組
(年少)」
年長さんの楽しそうな
姿を真似して、花びらの
色水遊びに挑戦中!テー
ブルの上には他にも独
創的なお料理が並びま
したよ。



山の安全を祈願して ～霊仙寺山開山祭開催～

6月5日(日) いいづなりリゾートスキー場オーロラ前にて
霊仙寺山開山祭を行いました。山の安全を祈願して、今年は
3年ぶりに記念登山を行いました。

大きな宣伝をしたわけではありませんが、須坂市や小諸市
など町外からも参加いただき、この日ばかりは霊仙寺山・飯
綱山も賑わいが戻ったようです。

屋外では少しずつマスクを外してもよい場面が出てきてい
るということで、マスク越しではない山の空気を吸っていた
だけたのではないのでしょうか。

例年ですと山頂でタケノコ汁の振る舞いなど行っていまし
たが、残念ながらそれは今年も断念!

来年こそは、コロナ前のように自由に行動できるようになっ
ていることを期待したいものです。

コロナになって3年…ようやく



コロナウイルスが落ち着き始め、コロナ対策のため規模は
以前のようにとはいかないまでも、開催される大会の数が増
え始めました。スポーツ協会所属の各クラブもようやく大会
参加が増えてきたように思います。

上水内郡壮年ソフトボール大会や東北部(旧4ヶ町村)の
ゲートボール大会・ラージボール卓球大会、スポーツ少年団
長野県競技別交流大会・北信地区大会などなど、今後の大
会の予定は様々です。スポーツ協会主催のものはもちろん
ですが各競技団体に開催されるものもあり、大会出場など目
標があると練習も張り合いが出るようです。活動を控えてい
た団体も少しずつ練習を始めるようになっていきます。このま
ま以前のような日常が戻ってくればと思います。

スポーツ協会 試合結果

■子どもの部

第42回全日本バレーボール小学
生大会北信西ブロック大会

期日 5月22日(日)
会場 若穂小学校
三水B.G.体育館

○男子の部

準優勝 三水ジュニア
3位 いづな

第38回長野県小学生陸上
北信地区予選会

期日 5月21日(土)
会場 長野市宮陸上競技場

○女子5年100m

9位 本山 結愛 16秒29
8位 祢津 輝貴 18秒04

第42回全日本バレーボール小学
生大会北信ブロック大会

期日 6月12日(日)
会場 若穂小学校

○男子の部

3位 三水ジュニア

■大人の部
第43回全日本クラブ男子ソフト
ボール選手権大会

期日 4月16日(土)
会場 高山村高井運動広場

優勝 オール信州ソフトボ
ールクラブ

第68回全日本総合男子ソフトボ
ール選手権長野県大会

期日 5月7日(土)
会場 大田市平野球場

準優勝 オール信州ソフトボ
ールクラブ

飯綱町ゲートボール連合春季大会

期日 5月1日(日)
会場 ふれあいパーク運動場

優勝 芋川(塚本保・塚本
真・深津・滝沢・森)

準優勝 普光寺(小林英・黒
沢・碓井・松沢・風間・
佐藤)

第67回全日本総合男子ソフトボ
ール選手権長野県大会

期日 5月8日(日)
会場 ふれあいパーク運動場

準優勝 オール信州ソフトボ
ールクラブ

第2回喜楽大会

期日 5月30日(月)・31日(火)
会場 北志賀・田川コート

3位 椿(飯綱町・松田・吉
沢・小池・塚本・丸山)

第77回国民体育大会ソフトボ
ール競技成年男子長野県選手選考
大会

期日 6月4日(土)
会場 ふれあいパーク運動場

準優勝 オール信州ソフトボ
ールクラブ

夫婦一緒に楽しむ子育て

木賀田 宏之さん（坂上区） 33歳



穏やかな笑顔の木賀田さんご夫婦と娘さん

生後7カ月になる女の子の
パパです。育児を約6カ月間
取得して、子どもの成長を見
守っていたとのこと。「今
が一番成長の早い時期なので、
初めて指をしゃぶった時な
ど、実際に見ることででき
嬉しかったです」と長い育休
の成果があったようです。「で
も、最近離乳食が始まり、こ
れから少しずつ増えていくと
思うので、育児を分割して取
ればよかったなと思っていま
す。自分が仕事に戻った今、
妻が一人で大変かなと心配し
ています」と。なんと育児は
分割しても取得できるそうで
す。制度などについても積極
的に調べて、利用する姿勢が
素晴らしいですね。

と、「産まれてから初めてや
って、安全に沐浴させてあげ
られなかったら困るじゃない
ですか。練習しておいた方が
安心なので。体験するのが当
たり前と思っていました。逆
にみなさんなんで体験しに行
かないんですかね？」と返事
が。初めての子育てを積極
に取り組んでいるようで、ま
さに「パパの鏡」のような存
在です。取材中にもずっとパ
パに抱っこされてご機嫌だっ
た娘さん。最後には気持ちよ
さそうにスヤスヤと寝ていま
した。これも普段から良好な
関係を築いているからの様子
だと思いました。

（飯田 安彦）

出産前から、
飯綱町子育て世
代支援施設「み
つどんのお家」
にて押鐘保健師
から沐浴体験を
教えてもらった
りしていたとの
こと。この沐浴
体験に参加した
パパさんはこれ
までに2人だけ
とのこと、木
賀田さんにその
ことを伝える

「俳句」

（飯綱俳友会）

氏子乗る建て御柱天を突く

清澤今朝勝

万緑やスマホに曾孫誕生す

中嶋 良秋

初夏薫る血筋育む秋田犬

高野 修

戦禍地や沃野万緑しのぶひと

瀧野 由子

訪ねれど古城の音色麦笛を

寺島美恵子

人生をナビが操る麦の秋

日野 秀静

万緑や黒一色のウクライナ

泉井 清泉

柿若葉日にかがやいて良き一日

東 奈々子

御柱木遣り高々石段曳く

仲俣 一重

梅雨寒やロシアに往きし秋田犬

田宮 秀英

「短歌」

マスクなど全く不要野良仕事
空気爽やか風も爽やか

坂井 寿男

戦場とよもやなるとはウクライナ

外山 吉恵

思わざりしに思いたくなし

山菜をいろいろ採ってくれる夫

食卓飾り我は助かる

宮本ゆき子

水張られ大合唱の蛙達

戦地にまでも届けとばかり

大川けさみ

「道」

公民館報いづな第100号に携わ
れたことに感謝申し上げます。

今回、公民館報いづな編集委員の
先輩方にお話をお伺いして、先人の方々
の頑張りがあったからこそ、今の館報
のいづながあるのだなあとつくづく実
感しました。町報の一部だと勘違いし
て読んでいて、文面や表現が変わり何
か違うぞと思っていた頃を思い出しま
す。思い起こせばその頃、何気なく見
ていた記事が今でも頭の中に残ってい
て、10年経ったあの場所は、今はどう
なったのだろうか？17年経ったあの出
来事やあの人はどうしているだろう
か？また、そこを訪れてみたいと思

います。まさに『温故知新』です。時
代は変われど、その地域ごとに住んで
いる方々の頑張りしてきた歴史があるか
らこそ、飯綱町の今に繋がっているの
です。人生の中で20年という歳月をこ
の飯綱町で過ごして、ここへ来て本当
に良かったと思います。出来れば生ま
れた時からここに居たかったとも思
いますが、そこまでは遡れませぬね。こ
の地に生まれ育った方々に敬意と感謝
を込めて、公民館報いづなから、こ
の地の良さを発信していきたいと思
います。

（3代目館報編集長 西村 啓大）



平成12年7月30日 表彰式後の記念撮影

旧牟礼三水早起野球連盟には、19チームありましたが、平成12年には6チームに減少。その内、旧三水村は役場チームだ。決勝は赤東対倉井で、5対5の同点でジャンケンで赤東が優勝。普光寺3位、芋川4位の結果だったそうです。第2ラウンドは、バーベキュー大会で、早起き野球の想い出話に花が咲いたそうです。(中村水和)

アルバムから こんにちには

50歳野球大会
於・芋川日向センターグラウンド

まだまだ
若かったね

シリーズ

いづな時空散歩

Vol.14

海だった飯綱町



フォッサマグナと飯綱町 (I-Sは糸魚川-静岡構造線)

長野市戸隠の柵地区は、山の中からホタテガイなどの海の生物化石が見つかることで有名です。今からわずか2百万年ほど前まで、飯綱町周辺も海の中でした。その後海底がむくむくと隆起し、海が退いて陸地になり、噴火によって斑尾山や飯縄山などが誕生しました。今では火山灰

や溶岩のかげらなどが飯綱町の地表をふとんのようにおおっています。その土台には海底にたまった厚い地層があります。

なぜ海だったのかというと、かつてここに南北に続く大きな陥没帯があったからです。その陥没帯のことを「フォッサマグナ」と呼びます(図を参照)。フォッサは「溝」、マグナは「大きい」を意味するラテン語で、明治期にドイツから来日したエドムント・ナウマン博士が1886年頃に命名しました。わざわざラテン語で命名されたのは、この溝が世界唯一の特異な地質構造であるためです。地下に隠れている溝の規模は、現在の姫川付近から群馬県みなみ町付近までの東西幅100km以上、底までの深さは地下数千メートルにもなります。

飯綱町はフォッサマグナの中心部です。大地の歴史はロマンチックな夢物語というものではありません。現在の私たちの暮らしに様々な影響を及ぼしています。

(いづな歴史ふれあい館長 富樫均)

シリーズ人権 ねがい

100

最近、盛んにSDGs(持続可能な開発目標)

という言葉を耳にします。2015年に国連で決定され17の達成目標が設けられており、期限も2030年となっています。目標設定から既に7年目ですが、一般に浸透してきたのはここ

性別に左右されない世の中へ

きた社会を変えることは大変です。当事者も周囲も意識し

本ジェンダーギャップ指数は世界156か国中120位となっており、先進国の中では最下位です。特に政治分野・経済分野の指数が低くなっています。女性の就業者は増えても管理職の割合はなかなか増えません。家事や子育てとの両立で難しい面もあるのでしょうか。

男性が育児に積極的に関わると「イクメン」と言われますが、本来当たり前のことだと思えます。昔から男性は外で働き、女性は家事・育児に専念するのが理想と言われてきた社会を変えようという意識が必要です。人それぞれ資質も考え方も違います。性別ではなく、人としてお互いを認め、補い合えれば住み良い社会になるのではないのでしょうか。子ども達が自分の将来を考えた時、性別に左右されず、進みたい道に進める世の中であってほしいと思います。

(男女共同参画推進委員会 吉澤好子)